

匝瑳市大規模盛土造成地調査一覧表

地点番号	第一次スクリーニング										第二次スクリーニング計画															優先順位										
	盛土造成地の位置		盛土造成地の規模				大規模盛土造成地の抽出				優先度評価										その他															
	所在地	面積 (m <sup>2</sup> )	原地盤面の勾配 (度)		高さ (m)	厚さ (m)	谷埋め型 面積 3000 m <sup>2</sup> 以上	腹付け型 原地盤 面の勾配 20度 以上かつ 高さ 5m以上	大規模 盛土造 成地の 種類	①盛土/擁壁の形状・構造					②変状				③	④	⑤造成年代		⑥変動確率				特記事項	優先度*	数が多い場合の優先度	保全対象			想定被害形態			
			α	θ						のり面勾配	小段間隔	保のり面	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造	宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設	地下水	不安定土層	造成年代	方式1による変動確率 (%)	方式2による変動確率 (%)	数量化2類方による変動確率 (%)	住居					公共施設等	避難所・緊急輸送路	既存調査結果 (土質・地下水・N値等)				
0001	千葉県匝瑳市大浦	11,875	13.5		22.0	7.2	○	-	谷埋め型	30°超	無	緑化工	無	土留擁壁未設置	非該当	無	-	崩壊跡	無	有	有	S58~H1	後	-	38.4	小	盛土のり面は、高さ22m、傾斜36°以上で標準的な構造に該当しない。盛土のり面には凹凸があり、崩壊跡がみられる。のり面からの湧水、浸み出しは見られないが、のり尻は水田と接し、水溜まりが形成されている。造成前の空中写真では、盛土地にはかつて谷沿いの田んぼが分布しており、盛土の下には沖積層が分布していると推定される。現状では新たな滑動等の変動の兆候は見られない。 盛土の南西部は、水田を埋めたようであり、盛土下には沖積層が分布している可能性が高い。	A1	簡易地盤調査	2	無	無	無	変形	2	
0002-N	千葉県匝瑳市八日市場イ	27,840	2.1		6.0	6.0	○	-	谷埋め型	30°以下	-	緑化工・擁壁	ほぼ水平	コンクリート造、ブロック積擁壁	該当	無	傾動、クラック	無	無	無	無	無	S44~S47	前	-	44.4	大	0002は、北部(高校敷地)と南部(県道16号沿い)の間は造成前の地形が残っており切土のり面となっていて連続性がないので、北部と南部に区分して評価した。 0002の北部側は、盛土/擁壁構造は標準的な構造に該当する。高校敷地を取り巻くように所々で擁壁が設定されている。この擁壁の一部に傾動やクラックが生じているが、局所的で基礎部の沈下によるものと考えられ、盛土の滑動の兆候ではないと推定される。ローム層の上に盛土されており不安定土層は見られない。	B3	経過観察	22	匝瑳高等学校	有	有	変形	5
0002-S	千葉県匝瑳市八日市場イ	5,399	4.3		6.7	2.0	○	-	谷埋め型	30°以下	-	緑化工・擁壁	3.5°	コンクリート擁壁	非該当	無	無	-	無	無	有	有	S44~S47	前	-	78.5	大	0002は、北部(高校敷地)と南部(県道16号沿い)の間は造成前の地形が残っており切土のり面となっていて連続性がないので、北部と南部に区分して評価した。 0002の南部側は、緩い谷地形に分布する水田を盛土していると推定され、盛土下には沖積層が分布している可能性が高い。現地で確認した盛土の厚さは2m程度で、盛土/擁壁構造は標準的な構造に該当する。宅地地盤傾斜角は4.3°と5°未満である。また盛土に滑動の前兆となるような変状は見られないが、盛土末端の水抜き穴から出水が見られる。この出水は、盛土地の民地庭に由来すると考えられる。	A4	簡易地盤調査	7	無	無	有	変形	4
0003	千葉県匝瑳市八日市場イ	59,665	3.2		15.0	9.3	○	-	谷埋め型	30°超	無	緑化工・擁壁	6°	コンクリート造、ブロック積擁壁	非該当	無	はらみ出し・修復跡	無	道路ひび割れ	有	有	有	S44~S47	前	-	47.5	大	造成前の空中写真では、盛土地は幅100m、延長500m程度の水田のある谷底地となっていた。中学校敷地北側にある盛土のり面は、高さ15m、傾斜40°で標準的な構造に該当しない。この盛土のり面の下部にはコンクリート擁壁が設置されているが、はらみ出しや浸み出しが見られる。現状では、のり面上方の高校グラウンドには変状は見られないが、水抜きなどの措置を講ずることが望ましい。 盛土南部南端の盛土末端付近のひな壇の擁壁には水抜き穴からの浸み出しが見られる。盛土は、水田を埋めたようであるので盛土下には沖積層が分布している可能性が高い。	A1	簡易地盤調査	130	八日市場第二中学校	有	有	変形	1
0004	千葉県匝瑳市飯倉台	24,625	3.9		17.3	7.7	○	×	谷埋め型	30°以下	-	緑化工・擁壁	4°	コンクリート造、ブロック積擁壁	該当	無	裏込めの流出	無	道路ひび割れ	無	有	有	S60~H1	後	-	44.4	大	造成前の空中写真では、谷底の農地となっており、盛土下には沖積層が分布している可能性が高い。 現地で確認した盛土/擁壁構造は標準的な構造に該当する。公園の東のり面は、尾根を整形したもにので、切土のり面と考え、のり肩の道路付近が盛土の西端部と推定される。公園内の切土のり面には浸み出し程度の湧水が見られるが、盛土への影響は小さいと考えられる。盛土に変状は見られない。盛土南側末端には道路下のブロック積擁壁の背面の裏込材が流出して隙間が生じているが、局所的なもので盛土の変動の兆候等は考えにくい。	A4	簡易地盤調査	67	鈴歌公園	有	無	変形	3